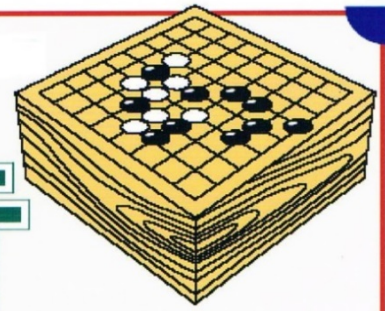


会報 第39号 令和4年9月15日
栄区囲碁ファンにおくる囲碁情報紙

いしおと

さかえの石音



栄区囲碁普及会・栄区囲碁連盟・日本棋院横浜栄支部・楽碁会

栄区の囲碁4団体、コロナ禍を乗り越えて活動再開！

栄区囲碁普及会・栄区囲碁連盟・日本棋院横浜栄支部・楽碁会

栄区の囲碁4団体は2020年3月からコロナ禍のためイベント活動等を休止していました。今年(2022年)始めの頃から、イベント活動を含めて活動を再開しました。現在コロナ第7波の到来中ですが、With コロナの観点から、コロナ感染対策を十分にした上で今後の活動をして行く必要があります。各囲碁団体の今後の活動方針を語って頂きます。

栄区囲碁普及会、囲碁教室再開！

今年の4月より、上達コース5教室及び入門・初級コース4教室を開講しました。教室の受講生の人数は約110名で最盛期の約70%程度になっています。また、認定会も2年ぶりに開催しましたが、参加者の人数は上達コースと入門・初級コースを合わせて約70名で2年前の65%程度になっています。第18回栄こどもとおとなの囲碁大会を横浜市栄区、日本棋院横浜栄支部及び栄区囲碁連盟の後援のもと、7月18日(海の日)に3年ぶりに開催しました。コロナ禍の影響で教室の受講生の人数及び認定会と栄こどもとおとなの囲碁大会の参加人数とも減少していますが、今後地道に囲碁普及活動を続けて人数を増やしていきたいと考えています。



栄区囲碁普及会
三箇会長

日本棋院横浜栄支部

囲碁フェスタ、奥田あや四段招聘！

コロナの沈静化に伴い、待望の対面による、「第1回日本棋院横浜栄支部囲碁大会兼段・級位認定会」を104名の参加を得て6月26日(日)の開催にこぎつけた。

引き続き8月28日(日)には「第8回囲碁フェスタ2022さかえ」をペア碁16組・連碁4チームの参加で支部会員間の親睦を図り、奥田あや四段の招聘の下、指導碁・棋譜解説等で棋力向上の一助とする。12月4日(日)「第2回日本棋院横浜栄支部囲碁大会兼段・級位認定会」を計画し、棋院支部の目的である囲碁普及に力を注ぎ、会員相互の親睦と棋力向上に努めてまいります。



日本棋院横浜栄支部
青井支部長

栄区囲碁連盟、区民囲碁大会再開！

栄区誕生と共に1986年11月発足以来、栄区民囲碁大会を毎年企画運営して参りました。その基本方針は「お年寄りから子供まで、明るく楽しい区民囲碁大会」をモットーに活動しております。ところがコロナ発生以来2年半もの間大会が開けず、忸怩たる思いで過ごして参りました。



栄区囲碁連盟
滝沢会長

この6月やっと連盟会員囲碁大会が開催できました。これまでの通常の大会より参加人数は少なかったものの、皆様方の笑顔、笑顔に溢れる大会となりました。これからは、コロナとうまく付き合いながら、「明るく楽しい区民大会」を続けて参る所存です。

楽碁会、毎週対局場所の提供！

楽碁会は普及会の卒業生の打つ場所を提供するために、2005年10月に本郷部会が設立され、続いて上郷部会、豊田部会が設立されました。現在は卒業生の他に受講生、インストラクター並びに囲碁を愛する一般の方にも門戸を広げ、月4回の例会と年2回の大会並びに年1回の共同大会を行っています。



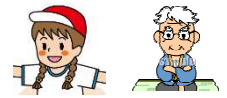
楽碁会
伊藤代表

最近のコロナ禍の元でも、地区センターの指導の下、感染防止対策を守って活動を続けています。

本郷部会代表 伊藤 正彦
上郷部会代表 小尾 優三
豊田部会代表 徳江 淳

毎週土曜日
毎週金曜日
毎週水曜日

第18回 栄こどもとおとなの囲碁大会



コロナの影響で2年の間延期となっていた栄区囲碁普及会の最大イベントである「栄こどもとおとなの囲碁大会」が7月18日(海の日)あーすぷらざで開催された。例年よりは少ない65名の参加であったが、鎌倉からは20名の子供さんの参加が有り三箇会長の挨拶に続き、富士田栄区長を始め来賓の方々のご挨拶を頂き熱戦が開始された。



富士田栄区長



初めての挑戦



メダルもらった

メダリスト (こどものみ)

敬称略

クラス	金	銀	銅
A	北村 月乃	野田 竜ノ介	宮島 あい
B	甘粕 慎志郎 吉田 凜	糸井 康介	深居 英恵
C	岩城 翔万	福田 蒼生	田畑 柚子
D	太田 咲洋	長谷 美果	児玉 紗良



対局風景

待ちに待った囲碁教室再開！ 栄区囲碁普及会 第24期 <9教室>がスタート



久しぶりの講義に熱心に



石音も高くなります



高段者の子供への指導碁



囲碁ソフト使用の講義

コロナ禍以降の初段取得者

コロナ禍で2020年3月教室休講以降の受講生はネット碁や個人々の努力により初段を取得している。この2年間に右の7名の方が取得している。

●昇段者の一言

「念願がかなって嬉しいというよりもホッとしている、というのが大きいです。今のところ実力は怪しい初段ですので、もっと勉強し、ある程度自信をもって勝率が5割くらいとなる楽しい碁が打てるようになりたいものだと思います。」増田裕一さん

●教室ごとの開講式

囲碁普及会の9教室はこの2年間各教室の自主運営に委ねられネット碁が主体の教室講座であったが、新年度から対面講座に切替え、4月1日上達コース上郷金曜教室の開講式をスタートに各教室ごとに開講式を開き、24期教室がスタートした。今年度の受講生は2年前に比べコロナ禍の影響を受け、約30名減の119名でのスタートとなった。どの教室でも再会を喜ぶ顔が見られた。

●会長からのコロナ対策の指示

開講に当たって三箇会長からコロナ対策について、個人個人の体長管理を行うと共に、教室ごとに消毒・換気・ソーシャルディスタンスの確保・マスク着用等に注意し運営に当たるようにとの指示があった。

高橋卓雄(2021年9月)・北川昌子(2021年9月)
形谷裕一(2022年4月)・増田裕一(2022年4月)
白井康之(2022年5月)・玉井歳夫(2022年6月)
宮島あい(2022年6月)

「2級昇級後コロナ禍で教室も認定会も中止、新年度も休講続きで、NHK講座と囲碁未来で勉強。教室再開も分らぬ中、棋力認定(A)2回分と秋の特別誌上認定でも得点基準に達し、日本棋院から初段を認められました。幸運に感謝です。」北川 昌子さん

新企画で始動！！！！

日本棋院横浜栄支部

『第1回囲碁大会兼認定会』

新型コロナウイルスの猛威に耐え各囲碁団体が活動を始める中、日本棋院横浜栄支部も衆知を集め「新企画」で、6月26日”あーすぷらざ”にて開催した。会場には嬉しそうな顔、顔 ⇒



【 囲碁大会の部 】

- 有段者によるハンデ戦、3回戦・スイス方式
- 3戦全勝者は日本棋院免状料金既定の半額負担にて申請・取得できる。

★参加者：56名

【 3戦全勝者 】

片山卓六段 中山翼四段(小5)
阿部志郎三段 笠原高男三段 二村忠岑二段
東寛二郎二段 阿部邦英初段

【 段級位認定会の部 】

- 級位者によるハンデ戦、3回戦・スイス方式
- 認定は従来通り、初段は全勝者、級位は全勝者及び成績優秀者に与えられる。

★参加者：48名

【 初段取得者 】

野田竜之介 宮島あい 山口響
北村月乃 大勝藤男 玉井歳夫
(敬称略)

盛りに盛り上がった！「囲碁フェスタ2022 さかえ」

色々な障害を乗り越えて開催に踏み切った6/26のイベント(上記)の成功を受け、第2弾として級位者も段位者も一緒に楽しめる「囲碁フェスタ」を8月28日”あーすぷらざ”で開催しました。多彩な企画に多くの囲碁ファンが参集し、共に楽しい時間を共有しました。

【第8回 ペア碁】

参加16チームを2グループに分け3回戦ルールは従来通りで、男女ペアの他親子、普及会生徒とインストラクターペアの参加も可能。



A班優勝：趙傑樹・島村和典



B班優勝：乙川宏・中山稔

【短信】2021、2022年「日本棋院普及活動賞」を受賞しました。(日本棋院支部代表者懇談会)

○令和2年度：北原文男氏、山中正巳氏

○令和3年度：捧武治氏

【指導碁：多面打ち】

午前、午後2回、6人ずつの多面打。午後の部では、将来有望な子供たち5人を特別に招待し、プロ棋士の厳しい指導を受け貴重な経験をさせました。⇒日本棋院・奥田あや四段



【1回目】(棋力、敬称略)
笠原高男、阿部志郎
新晴夫、成田直樹
玉井歳夫、越後屋隆



【2回目】(棋力、敬称略)
宮地陽哉(小5)、
中山翼(小4)、村上
日菜子(高2)、村上
明日香(小6)、島井
康伸(小4)、片山卓

【大盤解説】

話題の最年少プロ棋士藤田怜央初段(9歳)の、瀬戸大樹八段との試験碁を解説。



【連碁】

1チーム5名構成・総当たり3回戦に「本郷Aチーム」「本郷Bチーム」、「上郷チーム」、「豊田チーム」の4チームが参加。午前中に2局、午後1局戦い、上郷チームが優勝、本郷Aチームが2位に輝いた。

優勝「上郷チーム」
小尾優三 永野弘之
川村達夫 高島修男
窪川満(敬称略)



3年ぶりの大会開催！

栄区囲碁連盟

2022年6月11日”あーすぷらざ”にて『栄区囲碁連盟・会員囲碁大会』が開催されました。

滝沢会長は、「3年前までは80名を超す囲碁ファンであふれた会場が今回48名にとどまり寂しい限りで



すが、皆さんと一緒に囲碁を楽しめる今日を大変嬉しく思っています」と元気に挨拶されました。

入賞者（クラス分けは参加者の棋力分布により決まった）

	Aクラス	Bクラス	Cクラス
	五段以上 14名	四段 三段 18名	二段1級 16名
優勝	片山卓六段	三箇豊四段	佐野征啓二段
準優勝	秦聖郎七段	新青夫三段	田島芳伸初段
第三位	杉本隆洋六段	今岡哲也二段	今澤真也二段
3勝賞	村田明彦四段 阿部志郎三段 大塚稔二段 柳康左二段		

「楽碁会」各部会 2022 年度大会（前期）開催！

○本郷部会（7月2日、32名参加）

代表幹事：伊藤正彦（代表幹事：敬称略）

クラス	優勝	2位	3位
A	水野	阿部	藤田
B1	一枝	中村	真鍋
B2	笠原	平井	福田
C	福山	木村	横山

○豊田部会（7月20日、24名参加）

代表幹事：徳江 淳

クラス	優勝	2位	3位
A	新	生出	小田
B	須藤	成田	森
C	佐藤	大橋	池田

○上郷部会（7月8日、31名参加）

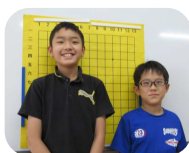
代表幹事：小尾優三

8組で各組4名による総当たり戦。表彰は各組2名（優勝、準優勝）、計16名が入賞した。

宮地陽哉君(小5)中山翼君(小4)活躍！

『第43回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会』

6月開催された神奈川大会で優勝・準優勝した宮地陽哉君（小5・写真左）と中山翼君（小4）が8月19、20日、日本棋院・東京本院で開催された全国大会に参戦。結果は宮地君が決勝トーナメントに進出（ベスト16）し、優勝した渡利君（京都）



に敗れ「ベスト8」を逃し、中山君は、連勝のあと惜しくも3回戦で敗れ決勝トーナメントに進めなかった。

【編集後記】コロナの影響下にあった栄区の囲碁界もネット対局から対面対局に切り替えた。栄区囲碁普及会は教室再開、日本棋院横浜栄支部、栄区囲碁連盟は囲碁大会開催、楽碁会は毎週の例会開始とあちこちで再会の喜びの声を聞いた。コロナと上手に付き合いながら、たくましく活動する

豊田地区センター「夏休み子供囲碁教室」

3年振りに、豊田地区センター主催（栄区囲碁普及会協力）にて7月28、29の両日開催された。子供11名が参加、ルール説明後指導対局、子ども同士の対局など、7人のインストラクターが猛暑の中熱心に対応した。囲碁は初めてという子供が大半だったが「楽しかった！」との声が多く、教室へ入りたい子供もいて充実した1日となった。



講義風景



対局風景

「本郷小学校キッズクラブ」報告

まだコロナ禍の抜けきらぬ2021年8月本郷小囲碁教室開催（キッズクラブの学童35名が参加）に続き本年も8月24日囲碁教室を開催、キッズクラブ児童



夏休み囲碁教室参加者

17名が参加、11名のインストラクターが対応した。この教室では9名が13路盤に挑戦した。

当キッズクラブはクラブチーフからの要請を受け昨年11月からは囲碁教室を週2回（月・水）開催している。またお手伝いをしているお母さん方にも特別講座を開き対応している。

これまでの教室回数：69回 参加者延：300余名
「囲碁を楽しんで、ご挨拶・後片づけもできるこの子供たちの今後の糧になることを願っている。」
（担当 徳江・牧野）

栄区の囲碁界を見せて欲しい。(M)

◆編集委員：牧野博 小田武史 道休俊和
三浦武久 宮川誠 渡辺紘
山中正巳 佐藤中勇 興野富男

◆発行者 三箇 豊（栄区囲碁普及会会長）

栄区囲碁普及会

検索